

子ども議員 任命式が行われました！

～緊張と期待の中、いよいよ活動がスタート～

2024年7月27日(土)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No.1



県内各地から選ばれた小学4年生から中学3年生の40名の子ども議員が集まり、任命式が開催されました。子どもたちが、緊張と期待の中、新たな1年をスタートしました。

緊張のスタート

会場には、緊張した面持ちで集まった子どもたちの姿がありました。新品の「子ども議員ファイル」を手にとって確認したり、2期目の子ども議員同士が再会を喜び合ったりする姿が見られる一方で、初めての参加で緊張した表情の子たちも多くいました。そんな中、サポーターやリーダーたちが声をかけ、徐々に場の雰囲気が和らいでいきました。



子ども県議会についての説明

子どもたちは、子ども県議会の仕組みや目的、これからのスケジュールについて、サポーターや担当の県庁職員さんから説明を受けました。子どもたちは興味深そうに耳を傾け、メモを取る姿も見られました。



自己紹介ゲームで打ち解ける

自己紹介ゲームを通して緊張をほぐしました。子どもたちの笑顔が次第に増え、会場に明るい雰囲気が広がっていきました。積極的に自分たちの名前を伝えていました。



身が引き締まる、任命式

午後には、いよいよ任命式が執り行われました。知事も出席され、ひとりひとりに任命書を手渡される際、子どもたちは緊張した面持ちながらも凛々しい表情を見せていました。知事からは、これから活動に取り組む子どもたちへ向けて、心に響くメッセージが贈られました。知事はまず、「自分の名前を大切にしてほしい」というメッセージと、ウクライナや病気の子、被災地で苦しんでいる子どもたちの現状に触れ、世界や周囲への関心を持つ大切さを伝えられました。



3つの大切にしてほしい「み」

- 1.身の回りの「み」自分の周囲や日常の出来事に目を向け、大切にしてほしいこと。
- 2.みんなの「み」自分だけでなく、周りの人々と助け合う意識を持つこと。
- 3.未来の「み」今だけではなく、大人になったときの未来を見据えて行動すること。

「今の自分を大事にするだけでなく、大人になった自分のことも考えながら行動してほしい」という知事の言葉は、子どもたちにとってこれからの活動の指針となったようです。



プレ活動で未来への一歩

任命式後には、自己紹介ゲームの続きを含めたアイスブレイクを行い、さらに和やかな雰囲気に。続いて、子どもたちは自分たちがエントリーシートに書いた内容を振り返りながら、「滋賀県の課題」や「未来の滋賀県の姿」について意見交換を行いました。初回ながら、すでに多くの具体的な意見が出ており、楽しそうに活動する姿が印象的でした。今日のめあて「1年間一緒に過ごす仲間と交流を深めよう」について、終了後のアンケートでは、90%の子どもたちが「達成した」と答え、大成功のスタートとなりました。



次回は地域体験活動へ！

次回は、近江八幡のたねやさんや彦根の近江鉄道さんを訪問し、滋賀県の魅力や地域の課題を体感する予定です。これからの活動を通じて、子どもたちがどのように成長し、滋賀県の未来を描いていくのか、ますます楽しみです！



子どもたちの感想

はじめてだったけど、友達ができたり、みんなと楽しく話し合えたりした。滋賀県を楽しく笑顔が溢れる滋賀にしたいと思った。もっと交流を深めたい。

緊張したけど、すぐ友達ができただけで楽しかった。自分の想いを伝えられて書けた。三日月知事に任命書もらった時、とても嬉しかった。次の子ども議会が楽しみ！めあて達成！

初めてで、とても緊張したし、不安だったけど、この短い時間でいろんな人と交流できて、次の会が楽しみになりました！